

特集

母乳育児と 乳がん

1996年に女性のがんの罹患率で乳がんが第1位になったことは記憶に新しいですが、乳がんへの不安・関心は年々高まっています。妊娠中の乳がん治療で患側乳房を失った人が、妊娠・出産後に母乳育児を希望して母乳育児相談室を訪れるケースもあるようです。そのような状況がある一方、乳がん罹患した女性の支援にあたって十分な知識を有していると言える助産師は、まだまだ少ないように見受けられます。

本特集では、周産期の乳がんについて知っておきたい基本的な知識を整理するとともに、乳がん合併妊娠女性、乳がん治療後の女性に対する支援の実践についても専門家の方々に具体的に解説していただくことで、助産師が乳がん患者に対応する際の足場を固めることを目指します。